

合併に反対した人も、賛成した人もごいっしょに

日本共産党

老後も子育ても安心の街づくりを



2議席に躍進すれば、日本共産党単独で市民の願いを議会に提出できるようになります。この議案提案権を使つて、介護保険の減免制度の復活・拡充など、市民の声をまっすぐ議会に届けます。



党市民相談室長
まえだ京子

プロフィール
1963年神奈川県生まれ。私立船橋学園女子高卒。PTA役員、「東金市政を考える会」会員。03年衆議院千葉11区候補。自宅：宿618-4

《主な活動地域》
正気地域、豊成地域、公平地域、田間地域、日吉台地域、求名駅前地域、北之幸谷



市議会議員
田辺博

プロフィール
1940年東金市生まれ。成東高校卒、59年県立農村中堅青年養成所卒（現県立農業大学校）。1973年より東金市議。自宅：福俵348

《主な活動地域》
大和地域、丘山地域、源地域、東金地域、福岡地域

日本共産党演説会

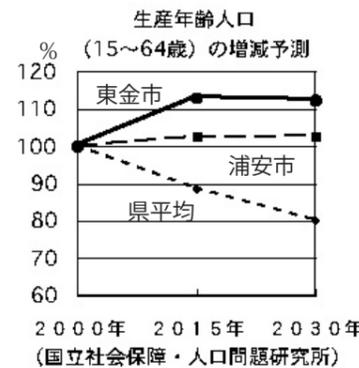


時：2月18日午後7時より
所：東金市文化会館
☆入場無料、ぜひおいでください。

単独でも議案が提出できる 日本共産党2議席で実現します

東金市は、社会の高齢化のなかでも、15歳から64歳までの「生産年齢人口」が県内でもっとも増える自治体であり、市の財政力も県平均を上回り、山武郡市でトップです。また、テクノグリーンパーク進出企業への固定資産税の適正化で、当面2億円

の増収も見込めます。こうした有利な条件を生かし、旧来型の公共事業のムダをキツパリ見直して、市民のみなさんの知恵と力を寄せ合えば、住みよい自立の街づくりは十分可能です。



ムダなくし、東金市の有利な条件を生かし

ゴミ袋や国保税の値上げを許しません

市民や議会にも内緒で、ゴミ袋代を40^{リットル}1枚12円から35円への大幅値上が計画されています。また、高すぎて払いきれない国保税の大増税も予定されています。国・県の暮らし切り捨てのなか、いっそうの市民負担増は許せません。「値上げするな」の声を広げましょう。



循環バスを市内全域に走らせます



今や循環バスは、どこでもまちづくりの基本です。お年寄りから子どもまで、みんなが便利に住みよい東金にするためにも、商店街など地域の活性化のためにも、市内全域での循環バス運行を実現します。

介護保険の減免復活と就学前の医療費無料化

日本共産党がくり返し提案して実現した介護保険の軽減措置。合併を理由につぶされた制度を復活・充実をさせます。また県民運動によって実現した3歳までの医療費無料化を小学校入学前まで拡大します。



防犯灯や排水路整備をすすめます



犯罪や交通事故が多発している今、防犯灯の増設や車歩道の分離をすすめ、安全な街にします。雨水、生活排水の処理も切実です。合併浄化槽への補助や下水道の計画的整備をすすめます。また、工事発注は地元中小業者優先で地域経済の振興もはかります。

アンケートに寄せられた願いにこたえます
「日々節約しても毎月赤字で悲しくなります、もう限界」
(20代・女性)。「貧しいものは死ぬということか」(70代・男性)。深刻な不況にくわえ、大増税が計画されるなど、市民のくらしはきびしさを増すばかりです。
こんな時だからこそ市は、住民のくらしを守るという自治体本来の役割をはたすことが強く求められています。



市民の願い実現へ共同に努力



押しつけ合併反対

チラシ・街頭宣伝に
勇気づけられました…

昨年11月、山武地域6市町村の合併の是非を問う住民投票は、合併「反対」が「賛成」の倍近く上回りました。日本共産党は、保守や無党派派の市民、議員と共同して、住民投票の成功に全力をあげました。山武地域医療センターの問題では、日本共産党県議団とも連携して、医療センターと合併は別の問題であることを明らかにしてきました。



救急救命センターは県の責任で！
県は、約束を破り県立東金病院をまるごと市町村に押しつけようとしています。東金病院は救急救命など高度医療に対応できるよう県の責任で整備・充実すべきです。

早く循環バス提案。路線拡大の要求ひろがる



循環バスは、もともと日本共産党議員が提案したものでした。それが自治会ぐるみの運動に広がり、福岡地区で運行が実現しました。今では、保守系の議員からも路線拡大の要求が出されるなど、市内全域運行が大きな世論となっています。

県下に誇る中学校の自校完全給食



かつて中学校は、おかずだけの給食でした。日本共産党の議員団は、市民のみなさんと力合わせ10年以上にわたり、完全給食を提案し、6年前に市長に実施を約束させました。その後他の議員も取り上げるようになり、とうとう平成14年度より自校方式の完全給食が実現。安全でおいしいと父母からも喜ばれています。

ムダをなくして暮らし応援



「市民合意のない開発はおこなわない」という立場で、西口再開発やセントラルパーク構想の凍結や見直しを主張してきました。西口開発では、シンポジウムを開き、商店街のみなさんなど幅広い方が参加。市長も「市民合意が大切」と約束し、計画は実質上凍結となりました。

西口再開発ムダな開発ストップ。幅広い意見をまとめて

日本共産党の2議席で 市民負担増ストップ、希望ある市政に

4年前、日本共産党が1議席に後退してからは、国保税の3年連続値上げや介護保険の減免制度の廃止など、市民いじめの悪政がひどくなっています。1議席でも、中小企業融資の拡充や排水路の整備など、市民のために奮闘し、議会内外で共同の力を発揮してきたのが日本共産党です。



住民投票で合併に明確な「ノー」の審判がくだされたのに、市長は辞めるどころか、「自立を選んだのだから負担を覚悟せよ」とばかり。日本共産党の2議席で、これ以上の市民犠牲をストップし、市民の願いが届く東金市をつくりましょう。